

・人 広報

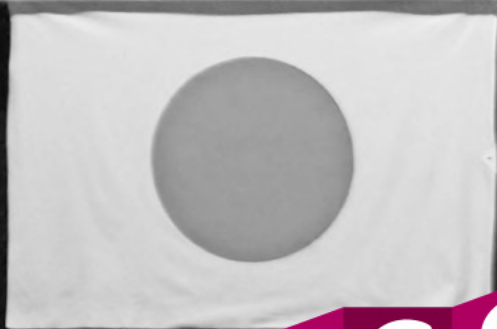


主な
話題

第77回通常総代会
年金友の会ゲートボール大会開幕戦
田植え最盛期
女性部花壇整備 他

6 月号
NO.691

伊達市農業協同組合 第77回通常総代会



TOPICS

今年も無事総代会を終了することができました。総代の皆さんありがとうございました。農繁期となる4月～6月は「春の農作業安全運動強化月間」です。農業機械の転落・転倒対策、農作業中の熱中症予防対策を心掛け、事故防止に努めましょう！

■ 第77回通常総代会

5月20日(火)、第77回通常総代会を伊達市カルチャーセンターにて開催しました。総代総数138のうち本人出席40名、議決権行使書89名を合わせて129名、出席率93.4%をもって総代会が成立し、提出されたすべての議案が承認されました。佐藤組合長は「今年は春先に雨が多く、農作業も遅れている。気温も低く作物も育たないので皆非常に苦労している。また、鹿をはじめとする有害鳥獣の被害が甚大。今まで個体の弱い鹿は秋が越せずにいたが、地球温暖化の影響で春から秋までが長くなり栄養が十分になったことで越冬できる鹿が増えたことが原因。全道的に80万頭の鹿が生息するとされ、さらに増える見込み。本格的に駆除し農作物の被害を減らしていく

ために、全道的な取組が必要であることから、要請を続けていく」とあいさつ。

令和6年度の営農販売高は、青果部門で13億1千万、畑作部門で5億1千万、畜産部門で37億3千万の前年比101%。青果部門では、春先は雪解けが早く天候に恵まれ春キャベツの価格高騰で始まったが、7月に入り曇天が続き日照不足から施設園芸の生育に影響ができました。前年の猛暑の教訓を生かし暑熱対策事業の取組や品種の見直しを図り高温障害の被害を軽減することができたものの、全国的に猛威を振るったトマトキバガによる被害が伊達市内にも襲い繁忙期のトマトの収量に影響を及ぼしました。結果的に、取扱高は計画対比96.3%、前年対比106.9%となりました。農産部門では、小麦は天候に恵まれたことや生産者の適期防除によりほぼ1等格内。



組合長あいさつ



議長を務めた佐藤さん(右)と広瀬さん(左)

てん菜については、面積が減少し昨年度に引き続き高温障害、病害虫の影響を受けながらも生育は順調に進み産糖量については良好で取扱高計画を上回りました。畜産部門においては、酪農戸数の減少から生乳量は減少しましたが、乳価の値上げにより取扱高計画を維持することができました。しかし個体販売については、市場価格低迷により農業所得の確保が厳しい状況となり、黒毛素牛についても、市場価格の平均は上回るものの取扱高計画を下回る結果となりました。

農協事業においては、対処すべき課題としていた不採算部門の収支改善に取り組みました。生活事業は改修投資や損益試算などからホクレンとの協同運営方式を凍結し、自力営

業で収支改善を図るとしておりましたが、消費者物価の上昇に伴う生活防衛意識の高まりと市内外競合店の価格攻勢もあり計画から大きく下回る結果となりました。

令和7年度においては、第9次農業振興計画の目標である「組合員所得増大と農業生産拡大」「組合員サポートの充実」「担い手・労働力確保」「地域農業の活性化」などの主要施策を基本に進めるとともに、参与の設置による組織運営の活性を図ること。また、改善が急務とされる生活店舗事業については、環境変化に応じた事業計画を実行し改善を加速させ併せて今後の方向性を判断していくとしました。



総代会のようす

《第77回通常総代会議案》

- 第1号 令和6年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
- 第2号 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第3号 令和7年度事業計画の設定について
- 第4号 役員報酬の支給について
- 第5号 定款の一部変更について

報告事項1 JAバンク基本方針の変更について

報告事項2 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況の報告について



スマホアプリ『JAコネクト』

JAからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

※お問い合わせ先

審査課 担当 高橋 TEL：23-2181



iPhone用



google用



JA伊達市の公式



フェイスブック

Facebook



インスタグラム

Instagram



JA.IWATA.SHL.HOKKAIDO

農業・地域に係る様々な情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします!

(担当:営農指導課)



■ ゲートボール大会開幕戦

5月14日(水)、伊達市総合体育館にて年金友の会ゲートボール大会開幕戦が開催されました。開幕戦には6名の会員が参加し久々の交流を楽しんでいました。

成績は以下の通りとなっています。

○ゲートボール結果

優勝B	角田 満	太田 智
	東海林信雄	
2位A	平泉 国子	伊藤 喜枝
	東海林綾子	



開幕戦のようす

■ マーケット消防訓練

5月19日(月)、くみあいマーケットでは営業中の店内での火災を想定した消防訓練を実施しました。西胆振行政事務組合伊達消防署の協力のもと、迅速な初期消火、お客さんや職員の避難誘導方法などの一連の流れを確認しました。

消防署の方からは、「スーパーなどの大きな建物での火災の場合は、煙を充満させないこと、閉じ込めることが大事」との話があり、参加した職員らは真剣に耳を傾けていました。

また、避難訓練後には消火器訓練が行われ、消火器の使用方法などを確認しました。



消火器の使用について説明を受ける職員

■ 田植え最盛期

5月下旬から6月上旬にかけて今年も市内各地の水田で田植えが最盛期を迎えました。

市内の水稻作付面積は主食用米142ha、加工用米36haの計178haでななつぼしを中心にゆめぴりかなど約5品種が生産されています。

また、上長和地区の八木沼剛宏さんの圃場では、伊達市立西小学校5年生の児童約50名による田植え体験が行われ、時折雨の降るあいにくの天気の中、子供たちは泥だらけになりながらも貴重な体験を楽しんでいるようすでした。



■ 女性部花壇整備

5月27日(火)、JA伊達市女性部は毎年恒例となっている花壇整備活動を実施しました。部員8名が参加し、サルビア、マリーゴールド、ペチュニアなどの女性部員が育てた苗物を中心にプランターへと植え付け、本事務所正面入口、金融側入口および登別支所に設置しました。この活動は、景観美化の一環として毎年行われており今年も和気あいあいとした雰囲気で作業が進められました。お越しの際はぜひご覧いただき、癒されてみてはいかがでしょうか。



作業を終えての集合写真

■ 東関内公共牧場入牧

5月28日(水)~30日(金)の3日間、東関内公共牧場にて育成牛の入牧が行われました。畜産課と関係機関の協力によって1頭ずつ個体番号確認や写真撮影、体重計測、駆虫剤塗布の作業が手際よく行われ、順々に放たれた牛たちは元気よく駆け出していきました。

今年は市内4戸の生産者から108頭(乳用牛81頭・肉用牛27頭)が入牧し、約70haの広々とした放牧地で育成することにより100kg前後体重を増やし、10月下旬に各生産者のもとへと戻ります。

また、6月6日(金)には登別公共牧場でも入牧

が行われ、登別市内3戸の生産者から約20頭が入牧しました。



牧場へ放たれるホルスタイン

生産販売課 農産係よりお知らせ

古米（令和6年産）の精米受入れについて

古米(令和6年産)精米 7月31日(木)まで受入

何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

※8月から精米計量器交換作業及び清掃作業等の為、古米受入終了日を変更しております。また、夏になると高温により粳や精米した後の米にも虫が発生することが多々ありますので早めの時期の精米をお勧め致します。

尚、虫混入の場合は精米をお断り致しますので、天日干し等で選別してから搬入して下さい。

伊達市農業協同組合 生産販売課 農産係 TEL 23-2221
麦乾施設 TEL 23-2458

令和7年度 営農計画書からの意見等に対する回答について

本年度の営農計画書にあたりまして、多くの組合員の皆様から貴重なご意見等を頂きありがとうございます。

皆様からのご意見等に対する回答を地区別懇談会に出された意見と重複しないよう要約して報告致します。

■共通・総務部関係

員の負託に応えるよう対応してまいります。

Q1. 各事業については職員数が減少の中、個々の努力により作業を進めていることに頭が下がるところですが、機構改革による課の統合の中で、生産販売課は数年になるがいまだに統合によるメリットが見えないような気がします。(私だけかも知れない) 係同士の連携がスムーズに進めることが重要です。

A1. 統合後の連携については、現状では十分とは言えない部分もありますが、現在の職員数の範囲内で円滑に業務を遂行できるよう、青果部門・農産部門との連携を強化しながら、業務対応に努めてまいります。

Q2. 平日昼間に、農協に行くことができないので、もっとICTの活用をしてもらいたい。コロナ以降世間は、オンライン会議、ネット手続きが常識になっています。今は非常に簡単です。JAでも早々に使えるように対応をお願いします。

A2. 現在、オンライン会議やネット手続き導入の予定はありません。

Q3. 伊達は1次産業の町だと思えます。1次産業の農家をまとめるJA伊達が伊達の若い世代にも魅力ある企業になってほしい。農家が儲かる情報やサービスをしてほしい。

A3. 引継ぎ営農情報について発信の他、組合

Q4. JAコネクトの件ですがJAさんからの情報発信に対し、「参加できる・できない」の返事がいまだに紙ベースになっているのでコネクト内で返事できるよう回数を増やしてほしい。伊達市農務課などからくる案内はコネクト内で返事できるのにJAでできないのは何故か。また、取りまとめ等の連絡の時、JAコネクトで返信や入力できる機能があると良いと思う。

A4. 内部で協議して、とりまとめ機能の活用を進めてまいります。

■信用部関係

Q1. ATMが1台では足りないと思います。くみかん窓口が15時までは早すぎるので、なんとか16時まではやって欲しい。

A1. ATM不足につきましては、正組合員の方はコンビニATMでの入出金手数料は掛かりませんのでご利用、ご理解願います。窓口対応につきましては、翌日支払い等の処理が可能な取引につきましては、15時以降でも対応しておりますのでご理解願います。

Q2. 不良債務の早期解消を願う。

A2. 不良債権並びに延滞債権については、経営改善指導によるものや資産売却等による回収等に努めております。今後も早期回収、延滞解消に努め財務の健全化に努めてまい

ります。

■営農生産部関係

Q1. 労働力確保への情報提供などをお願いしたい。

A1. 本年度も人材派遣会社より雇用確保から人員確保を行います。また、外国人雇用者もお願いしております。

Q2. 米麦調整施設(麦乾施設)については各地で意見が出ていると思いますが、更新または大型修理等の考え方や声の中で生産者減少が考えられるものの、生産量は拡大する可能性が十分あると思っていますので、早期に計画を示し、組合員の負担も含め説明と理解を求め作業を進めることを強く望むところです。

A2. 現在、米麦改良組合と協議し生産者負担の軽減を図れるように対策を実行してまいります。

Q3. 農業を儲かるビジネスとしてこれ以上離農者が出ないように指導してほしい。営農指導課があるので営農の厳しい農家の相談窓口とかしてほしい。国営事業がはじまっていますが工事後の地力の低下が悩みになります

A3. 組合員の皆様が安心して営農を継続できるように農協と関係機関の協力により頼られる営農指導に取り組んで参ります。

Q4. 青果の重点品目への注力を積極的に行うべきだと思う。

A4. 重点品目の各部会にて面積の拡大を要請し協力をいただいております。稼働者による収穫作業を行ってまいります。

Q5. 専門性を持った営農指導のプロフェッショナルの育成、青果販売強化

A5. 人材確保を行い人材育成からスキル向上

に努めてまいります。

Q6. 伊達市の農業は新規就農の促進に力を入れないと農業者が減少していくと思う。

A6. 伊達市担い手育成センターにて現状に合うような支援対策を協議しております。

Q7. 1. 賦課金の見直しをお願いしたい。

理由 小面積での支払は厳しい。

2. 正組合員（准組合員）グリーンセンターで資材購入しているが、賦課金の支払いで定額で購入しているのと同じである。

A7. 賦課金については、主に営農指導事業や組合の事業活動に必要な支出に充当するためのもので、ご理解願います。

■購買部

Q1. マーケット事業の改善、見直し。マーケットが行き詰まる前に何らかの方法を考えてほしい

A1. 計画達成に向け、売場の見直しや系統統一企画による仕入れ及び商品統一の実践で収支改善に取り組んでまいります。また、事業の進捗状況から移管や譲渡、賃貸などを含め方向性も検討してまいります。

Q2. 土曜休みの日でも当番制でやってほしい(資材課、機械センター)

A2. 職員の高齢化や人員不足・新規採用対策として、今後は休日を増やしていかなければならないと考えておりますのでご理解願います。

Q3. 中古農機の売りたい・買いたい情報があると助かる。(輸送費がかさむ農機は、地域の中で効率良く取引きできるのが理想。)

A3. 農機担当者が個別に対応しておりますので、お問い合わせください。

農業者年金



長生きをマイナスにしたくない。

農業者のための年金が

あるなら入りたいと思う。

6つのメリット

農業者は広く加入できる

終身年金。

老後を最後までサポート

全額社会保険料控除で

大きな節税効果

保険料が自分で選べて、
いつでも見直せる。

条件を満たせば、

月額最大1万円の国庫補助

少子高齢時代に強い積立方式・
確定拠出型の年金



詳しくは… 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp/>

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

伊達市

農業委員会

TEL 0142-82-3368

/JA

伊達市

TEL 0142-23-2181

独立行政法人 農業者年金基金

TEL 03-5919-0371 (専門相談員)

TEL 03-5919-0332 (企画調整室)



JA伊達市マーケット本店にて
2025年6月21日(土)～6月22日(日)

9:30～15:00 昨年ご好評につき今年は2日間開催!

JA各種ローン & JA共済相談会開催

子供の保険
や教育費は
お金がかかる
なあ...



家を建てたいけど
お金の余裕が...



病気になったら
どうしよう...



もしも車で
事故に遭ったら...



©よりぞう

様々なお悩み、私たちが解決いたします!
予約不要&お気軽にお越しください!

もっと

安心と満足をお届けするため…

ライフイベントなど
皆さまの暮らしのことお聞かせください！

聞かせて!!
暮らしのこと
アンケートキャンペーン

アンケートの
回答はコチラから！



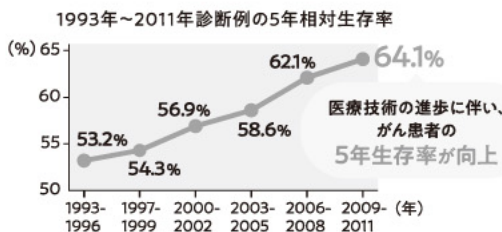
簡単なアンケートに答えると
抽選で合計600名様に
豪華賞品が当たるチャンス！

さらに/
W その場で当たるデジタルクーポン
チャンス! 合計100,000名様

「がん治療の傾向」

ポイント
2

がんと診断されてから
5年後も生存されている方が増えています



一方で治療と生活の両立が負担に…



女性30.7万人

悪性新生物の治療のため、
仕事をもちながら通院している人は

男女で約49.9万人



男性19.2万人

乳がんでは5年以上ホルモン療法を
続けることがあります。

そこで!

備えがあれば今の生活を続けながら
安心して治療に専念できますね。

がん共済

がん治療と
向きあうための備え



医療技術の進歩に伴い、患者の生存率が向上
がん治療に不足のない備えを

※出典：公益財団法人 がん研究振興財団、厚生労働省、一般社団法人日本乳癌学会が公表している
データをもとにJA共済作成

25481050194

共同購入
第3弾

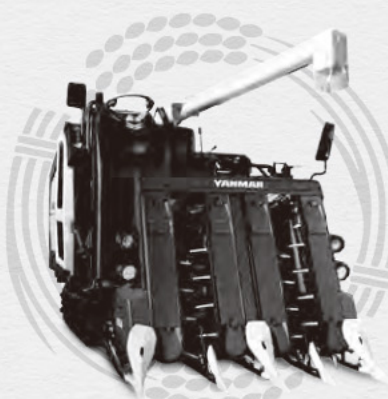
生産者 & JA 共同購入コンバイン

絶賛
発売中!

稲作生産者の皆様の声を反映した共同購入コンバインは、令和5年12月の発表以降、多くのお問い合わせ・購入のご相談をいただいております。おかげさまでこの1年で500台を超える注文をいただきました。

これからも、JAグループは一体となって、生産者の皆様への共同購入コンバイン提案活動に取り組み、生産資材コスト低減に繋げていきます。ご注文は令和9年5月までの受付となります。ご相談・お問い合わせなどは、最寄りのJA農機センターまでよろしくお願い申し上げます。

JAグループ/全農



型式 YH448AEJU

メーカー希望小売価格 670万円(税抜)

4条刈り 51.5馬力(グロス)
48.4馬力(ネット)

PR動画はこちら



Q

農業機械の
共同購入
とは?

A

JAグループで生産者の需要をとりまとめ、全農が生産者の代理人として一括発注・仕入をおこなうことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。共同購入型として選定された機械はどなたでも購入いただけます。

私たちが寄り添えることを、もっと。- JA共済×全農×JAバンク -

私たちが寄り添えることを、もっと。

JA共済 × 全農 × JAバンク

今回のテーマ

がん への備え “2つのポイント”

ナビゲーター
阿部 祐二さん



ポイント
1

“がん”のリスクに先手を打とう！
いつ・どのぐらいを確認して
正しく“がん検診”を受けよう

日本人の2人に1人が診断を受けるといわれる「がん」。不治の病と呼ばれていたのは昔の話。現在は、早期発見・治療することで、治る可能性が高まっています。しかし、注意すべきは「早期がんは自覚症状がほとんどない」ということ。早期発見のためには、定期的な検診を受けることが大事です。早期発見できれば、命に関わる前の段階で根治できる可能性も高まりますし、「異常なし」と診断されれば安心して生活ができますよね。

もちろん、検診結果が必ずしも「絶対」というわけではありません。がん検診には、がんを見逃して発見が遅れる「偽陰性」。その反対に、がんではないのに、がんの疑いありと判定される「偽陽性」になり、本来必要のない精密検査を受け、心身の負担になってしまうことも。また、1回の検診で確実にがんを発見できるとも限りません。だからこそ適切な年齢と間隔でがん検診を受診することが大切で、気になることがあれば医療機関を受診してください。

記事下では、国が推奨する「がん検診」をご紹介します。検診は、「忙しいから」「元氣だから」と、先延ばしにしてしまいがちですが、自分はもちろん家族のためにも、適切に受けるようにしましょう。



ニッパ早期発見のチャンス！

国が推奨する がん検診

罹患数 ^{※1}	種類	検査項目（問診含む）	受診間隔	対象年齢
男女ともに第4位	胃がん	胃部X線検査 ^{※2} または胃内視鏡検査	2年に1回	50歳以上
男女ともに第2位	大腸がん	便潜血検査	1年に1回	40歳以上
男女ともに第3位	肺がん	胸部X線検査および喀痰細胞診 ^{※3}	1年に1回	40歳以上
女性第1位	乳がん	マンモグラフィ	2年に1回	40歳以上
	子宮頸がん	細胞診 ^{※4}	2年に1回	20歳以上

かかりつけ医の勧めもあって私も定期的にがん検診を受けています！皆さまもぜひ考えてみてください。

※1 国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
※2 当分の間、胃部X線検査については40歳以上、1年に1回の実施も可とされています。
※3 喀痰細胞診の対象は、50歳以上で、喫煙指数（1日本数×年数）が800以上の方です。
※4 自治体によっては「HPV検査単独法（原則5年に1回）」も実施可能。くわしくはお住まいの自治体のホームページ等でご確認ください。
出典：厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

【監修】
国立がん研究センター
中央病院 検診センター長
小林 望さん





令和7年度
の活動

▶第31回理事会…令和7年5月29日(木)

<議案>

- 第1号 令和7年度組合員信用限度・クミカン供給限度・貸越極度査定書について
- 第2号 令和7年度JAバンク経営戦略シートの策定について
- 第3号 令和6年度JAバンク基本方針に基づく財務モニタリングの報告について
- 第4号 令和6年度JAバンク基本方針に基づく体制整備モニタリングの報告について
- 第5号 施設園芸生産安定対策事業実施要領(案)について
- 第6号 行政庁への業務報告書の提出について
- 第7号 理事の報酬(案)について
- 第8号 第1・四半期監事監査日程について
- 第9号 出資金持分譲渡について

JAの家庭雑誌
あなたの元気が
わたしの元気

家の光

お申し込み受付中

- ◇普通月号 税込 **629円**
- ◇付録月号 (1・4・5・7・9月号) 税込 **922円**
- ◇付録月号 (家計簿付12月号) 税込 **1,027円**

農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みはJAへ

- 定価(税込み) 普通月号 …… **618円**
- 付録付号 (4・11月号) …… **680円**

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.92

上館山地区工事開始

5月から上館山地区の工事が始まりました。
今月からは、大平地区においても工事が開始予定となっています。

工事にあたっては、初めに工事業者による測量後、現地で耕作者の皆さんに次の項目を立会確認いただき着工となります。

- ・丁張（取付道路や土砂溜等の位置）確認
- ・表土厚の確認
- ・土壌硬度の測定

また工事期間中、基盤の切り盛り・表土戻し等の工程ごとに立会・確認いただきながら進めていくこととなります。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期会
事務局（伊達市 経済環境部 農地整備課内）
TEL0142-82-6161（直通）



発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

